

オープンでも視線を遮る工夫を

S様邸

「前の道が狭いので、前庭にUターンのできる広めの駐車場を」「オープンにしてもプライバシーは守りたい」といったお客様の要望に応え、広い駐車場を確保。また、門柱や植栽などでさりげなく道路からの視線を遮る工夫をしました。床のタイルや塀のレンガ使いが、住まいの雰囲気美しく調和しています。



【芝生の中庭】
テラスには、「ナチュラル」テラスと「ひとと木」を採用。グリーンが芝生とも調和しています。



【エクステリア全景】
前庭を駐車場にしたオープンなエクステリア。門柱と塀の位置と高さを工夫して玄関をさりげなく隠し、芝生の中庭は手前に木を立てて目隠ししています。前庭の床タイルは、一部だけ色を微妙に変えて、駐車スペースとアプローチを区別しています。



【U.スクリーンで目隠し】
隣家との境には、「U.スクリーン」を採用。とくに隣家の窓がある場所には、全面目隠しパーツを設置してプライバシーを確保。



【玄関アプローチ】
正面からでなく、右ナメから入るようにしてあります。エンジ色の床はゴムチップを敷き詰めしたもの。踏み心地が柔らかく、すべりにくいと好評です。ハッキリした色使いが、玄関まわりを引き締めています。

塀の曲線が印象的。一角に和の庭も

H様邸

以前から住んでおられた敷地に全面建て替え。お客様は、住宅に調和するオープンなエクステリアをご要望。「最初は和風の庭はつづす予定でしたが、お父様が丹精込めた庭なので、残すことを提案しました」（佐野様）ということで、和洋折衷の庭づくりをしました。高低をつけた曲線的な塀で囲み、洋の庭はオープンに、和の庭はクローズにして、バランスのいいエクステリアを完成させました。



【跳ね上げ門扉とカーポート】
裏手には車が2台駐められるカーポートが、跳ね上げ門扉とフェンスを採用。



【エクステリア全景】
重厚なレンガタイル貼りの住まいに、明るいベージュの塀が美しく調和。塀の曲線がリズムをつくり、軽快な雰囲気プラスしています。向かって右側が洋の庭、左側が和の庭。左側の塀を高めにして和の庭を目隠しし、外観の雰囲気を統一させています。



【洋の庭】
円形に敷き詰められた床タイルがアクセントに。砂利の部分は下に防草シートを敷き込んであるので、面倒な雑草との心配がありません。



【玄関から門の方を見る】
アプローチの曲線と、ところどころの石貼りに遊び心が感じられます。



【門から玄関へ】
アプローチが曲がりくねっているため、実際よりも広く見えます。



【和の庭】
和室の前にはお父様が作った和風庭園を残したため、住まい全体が落ち着いた雰囲気。



【床にアクセント】
コンクリートの床もひと工夫。天然石やレンガチップでアクセントを。



【外の花壇】
塀に沿って設けられた花壇。ハーブを植えてロックガーデン風に。

提案型の「ショールーム」でお客様のイメージづくりのお手伝い

280坪という広い敷地に展開された「ショールーム」（展示場）は、素材や商材だけを展示するのではなく、門扉とアプローチの組み合わせや、外での団欒の場など、実際の生活に即した提案型の展示がもりだくさん。植木やグリーンもふんだんに入れて、具体的にイメージしやすく仕上げてあります。訪れたお客様からも「広くて、いろいろなパターンが見られて参考になる」「植木もステキ、こんなふうになりたいと夢がふくらむ」などと大好評です。



芝生、レンガ道、枕木の飛び石など、床材の使い分けも参考になります。



店内へのアプローチは、重厚なレンガの門柱やさまざまな庭木で美しく演出。

子どもの遊び場も用意してあるので、ファミリーで来店しても大丈夫。



アーチやトリスなどを要所要所に配置。雰囲気のある庭づくりの参考に。



落ち着いたたたずまいの和風庭園。